

感染症発生動向調査により届け出られた 茨城県における梅毒の概要（2026年第1四半期）

茨城県感染症情報センター

感染症発生動向調査により届出られた茨城県内における梅毒症例の動向について、四半期ごとに情報をまとめ還元いたします。

第1四半期：第1週～13週（2025年12月29日～2026年3月29日）

第2四半期：第14週～26週（2026年3月30日～6月28日）

第3四半期：第27週～39週（2026年6月29日～9月27日）

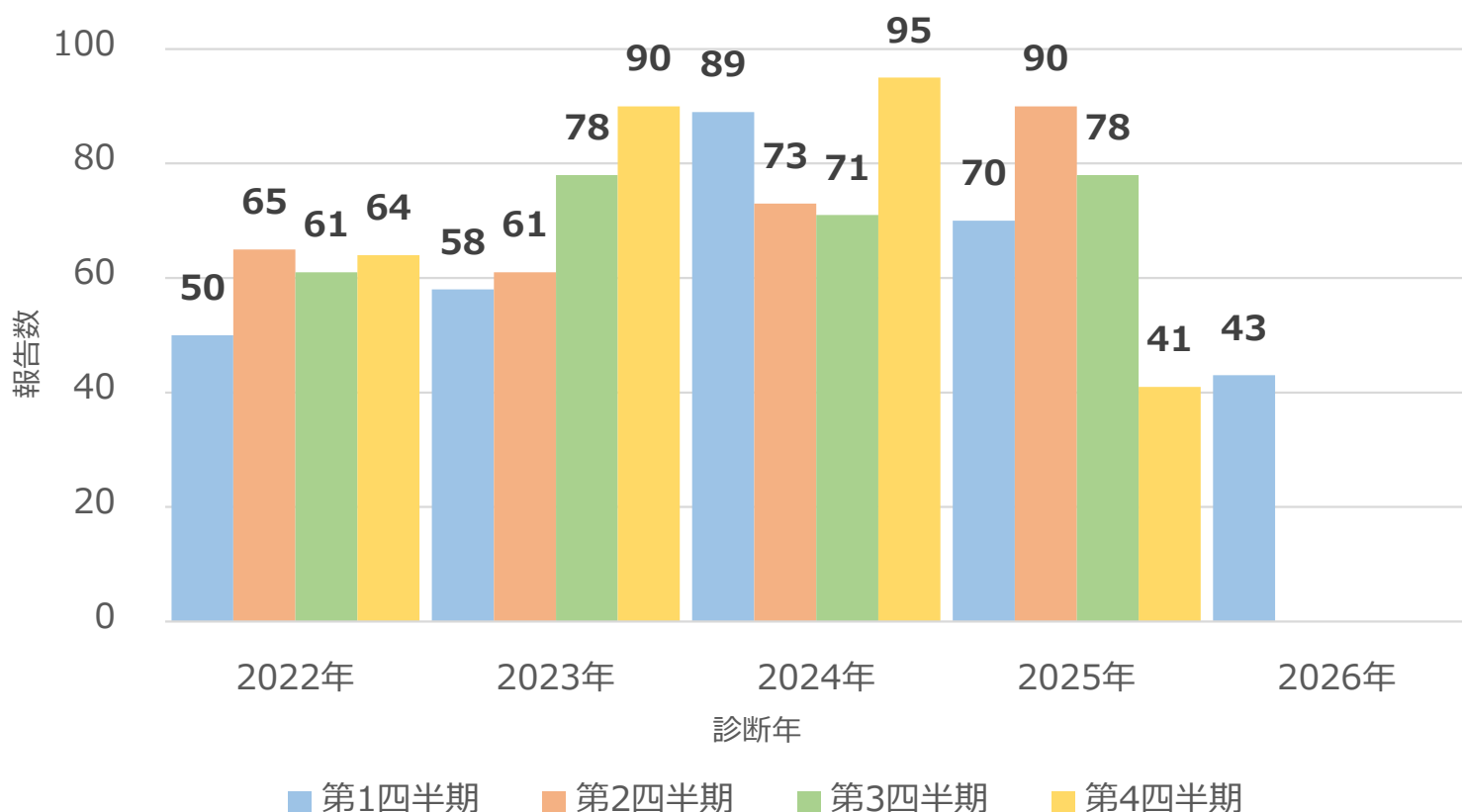
第4四半期：第40週～53週（2026年9月28日～2027年1月3日）

※ 2026年5月7日時点における集計のため、以降の遅れ報告は含まず

四半期別 梅毒報告数

- 2026年第1四半期の梅毒報告数は43例と、直近5年間の同時期で最も少ない報告数であった

茨城県内における四半期別 梅毒報告数（2022年～2026年）



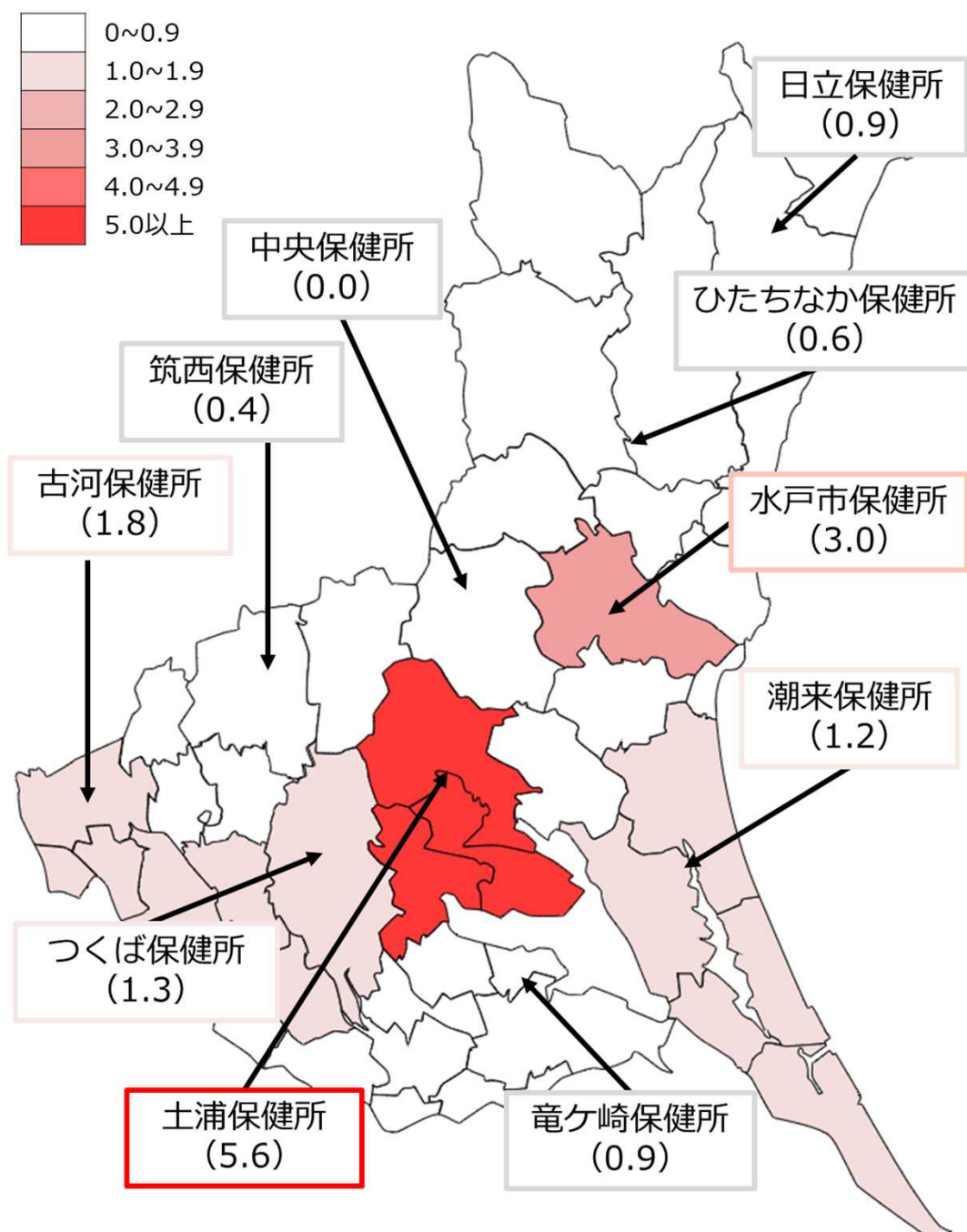
管轄保健所別 梅毒報告状況

- 管轄保健所別の梅毒報告数は、土浦保健所が14例と最も多く、水戸市保健所が8例、つくば保健所が5例の順に多かった
- 人口10万人当たり報告数は、土浦保健所が5.6と最も高かった

茨城県内における管轄保健所別 梅毒報告数（2026年第1四半期12/29~3/29）

	中央	ひたちなか	日立	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	古河	水戸市	計
男	0	1	2	1	2	8	4	0	2	7	27
女	0	1	0	2	2	6	1	1	2	1	16
計	0	2	2	3	4	14	5	1	4	8	43

管轄保健所別 人口10万人当たり報告数（2026年第1四半期:12/29~3/29）



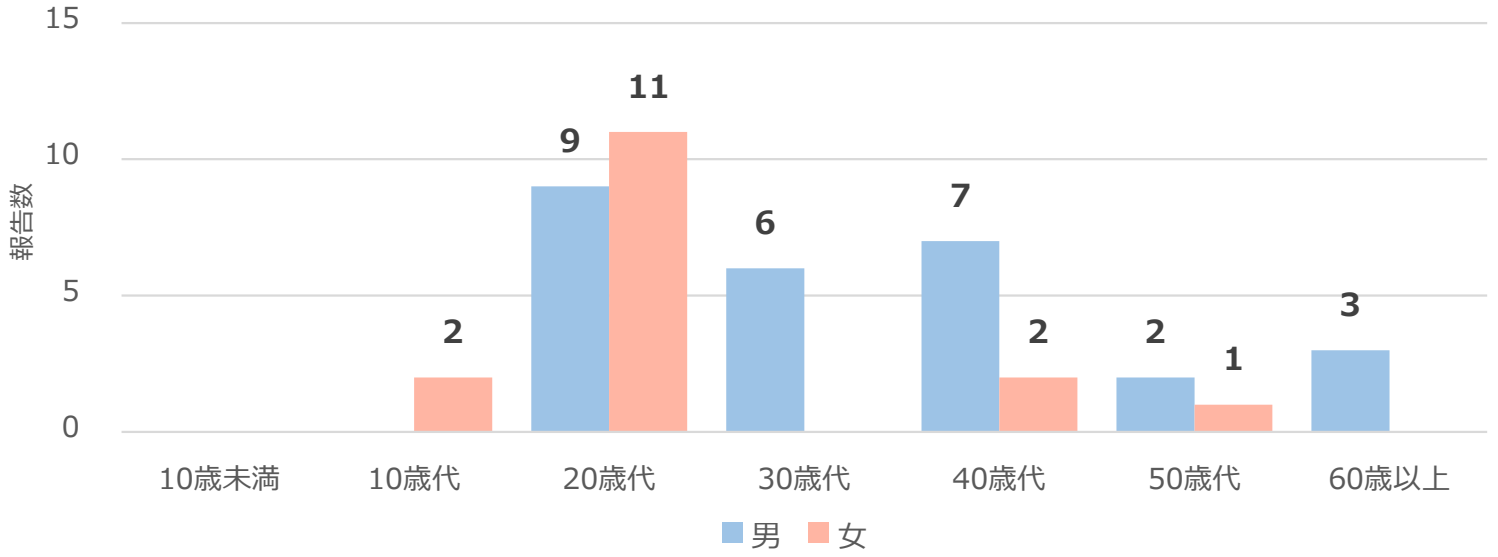
※ () 内は人口10万人当たり報告数

※ 人口は「茨城県の人口と世帯(推計)2026年1月1日現在」を使用

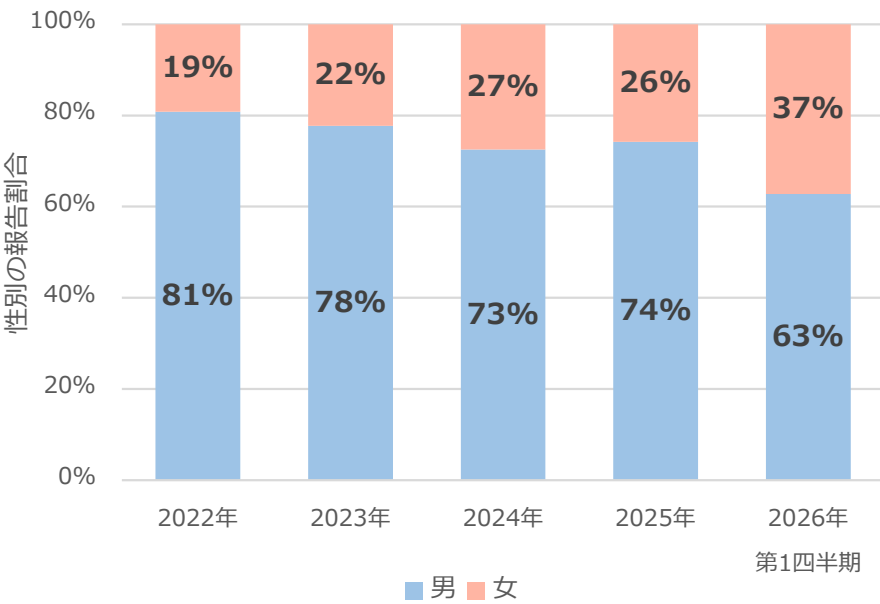
性別・年代別 梅毒報告状況

- 2026年第1四半期に報告のあった梅毒症例は男性（63%）に多く、男女ともに20歳代が最も多かった

茨城県内における性別・年代別 梅毒報告数（2026年第1四半期:12/29~3/29）



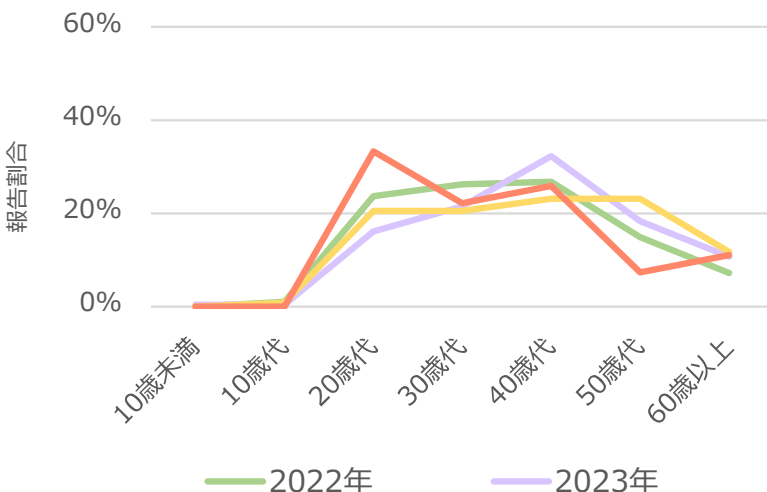
性別 梅毒報告割合（2022年～2026年）



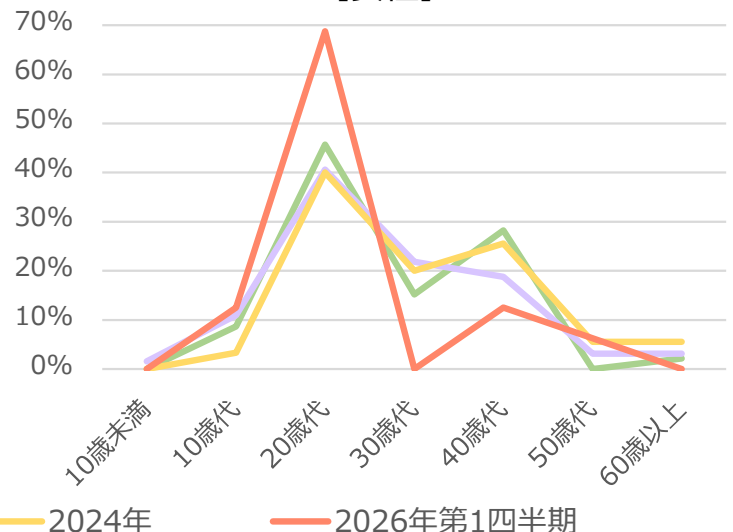
- 2026年第1四半期の性別の梅毒報告割合は、女性が37%と直近5年間で最も高かった
- 2026年第1四半期に報告のあった梅毒症例は、男女ともに直近5年間で20歳代の割合が最も高く、女性症例の約70%を占めた

年代別 梅毒報告割合（2022年～2026年）

【男性】



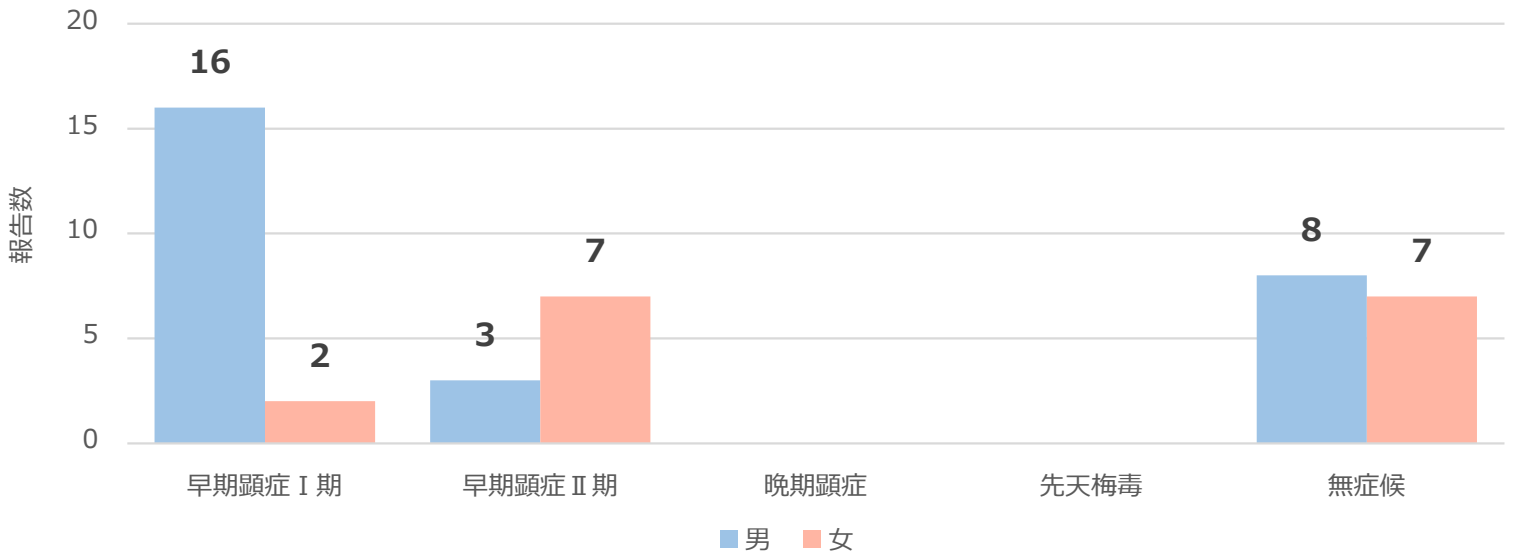
【女性】



病型別 梅毒報告状況

- 2026年第1四半期に報告のあった梅毒症例の病型は、男性は早期顕症Ⅰ期が多く、女性は早期顕症Ⅱ期・無症候が多かった

茨城県内における性別・病型別 梅毒報告数（2026年第1四半期:12/29~3/29）



【男性】病型別 梅毒報告数（2026年第1四半期:12/29~3/29）

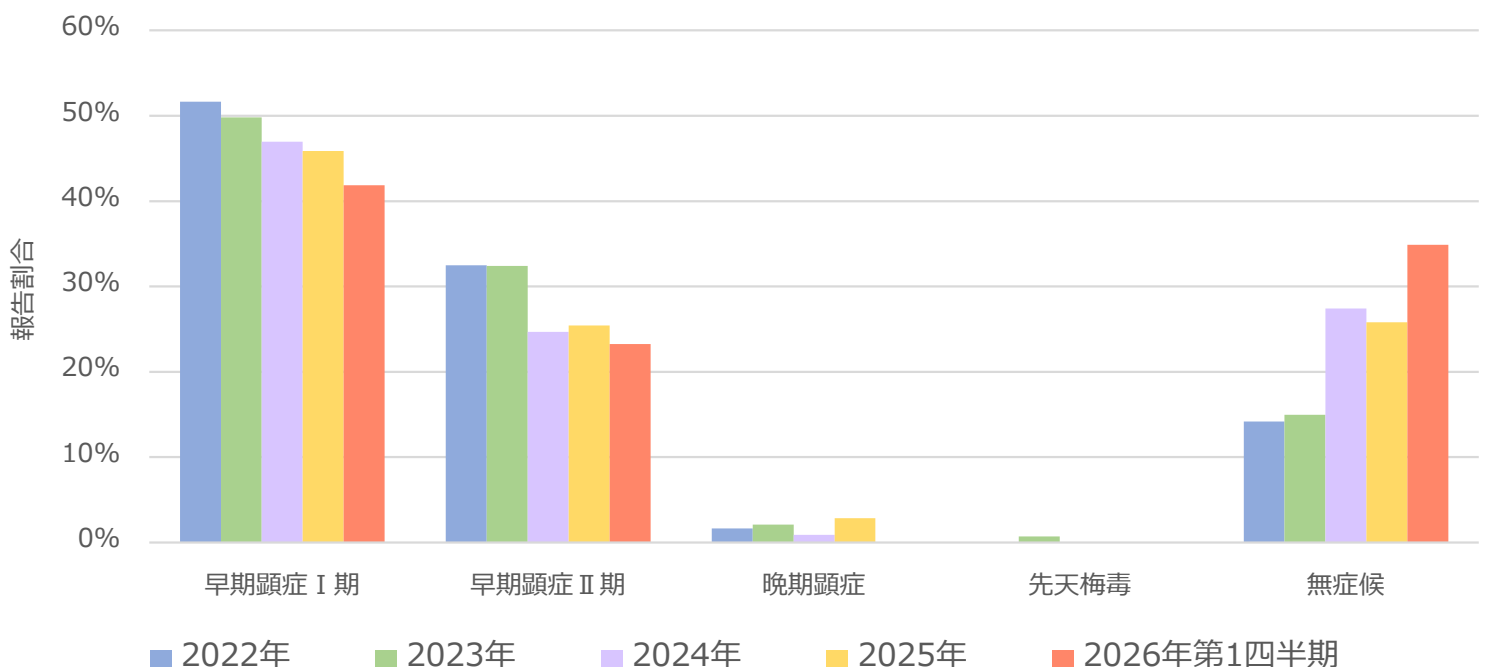
早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
16 (59.3%)	3 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (29.6%)	27

【女性】病型別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）

早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
2 (12.5%)	7 (43.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (43.8%)	16

- 早期顕症Ⅰ期・Ⅱ期の報告割合は減少傾向にあり、無症候の割合は増加傾向にある

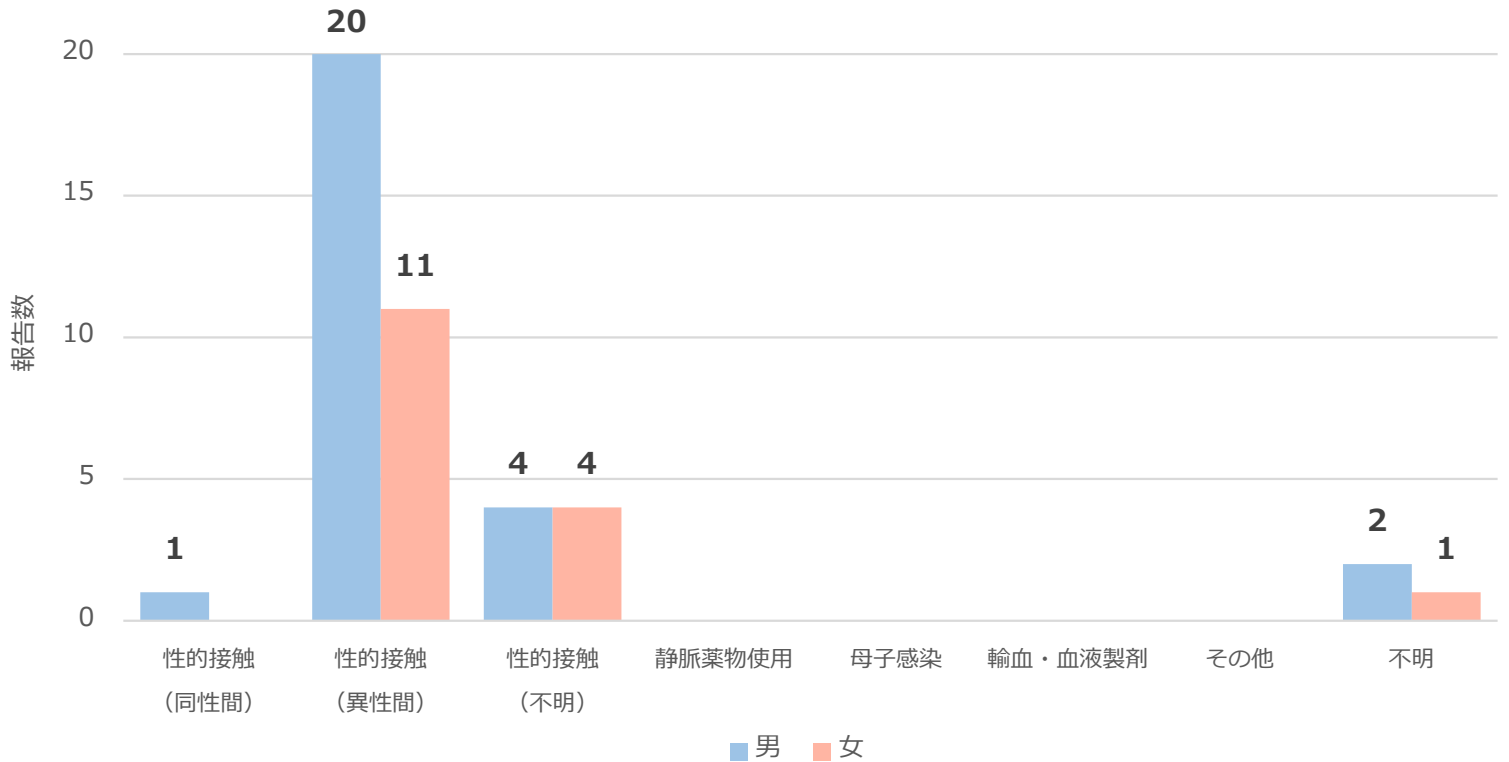
病型別 梅毒報告割合（2022年～2026年）



感染経路別 梅毒報告状況

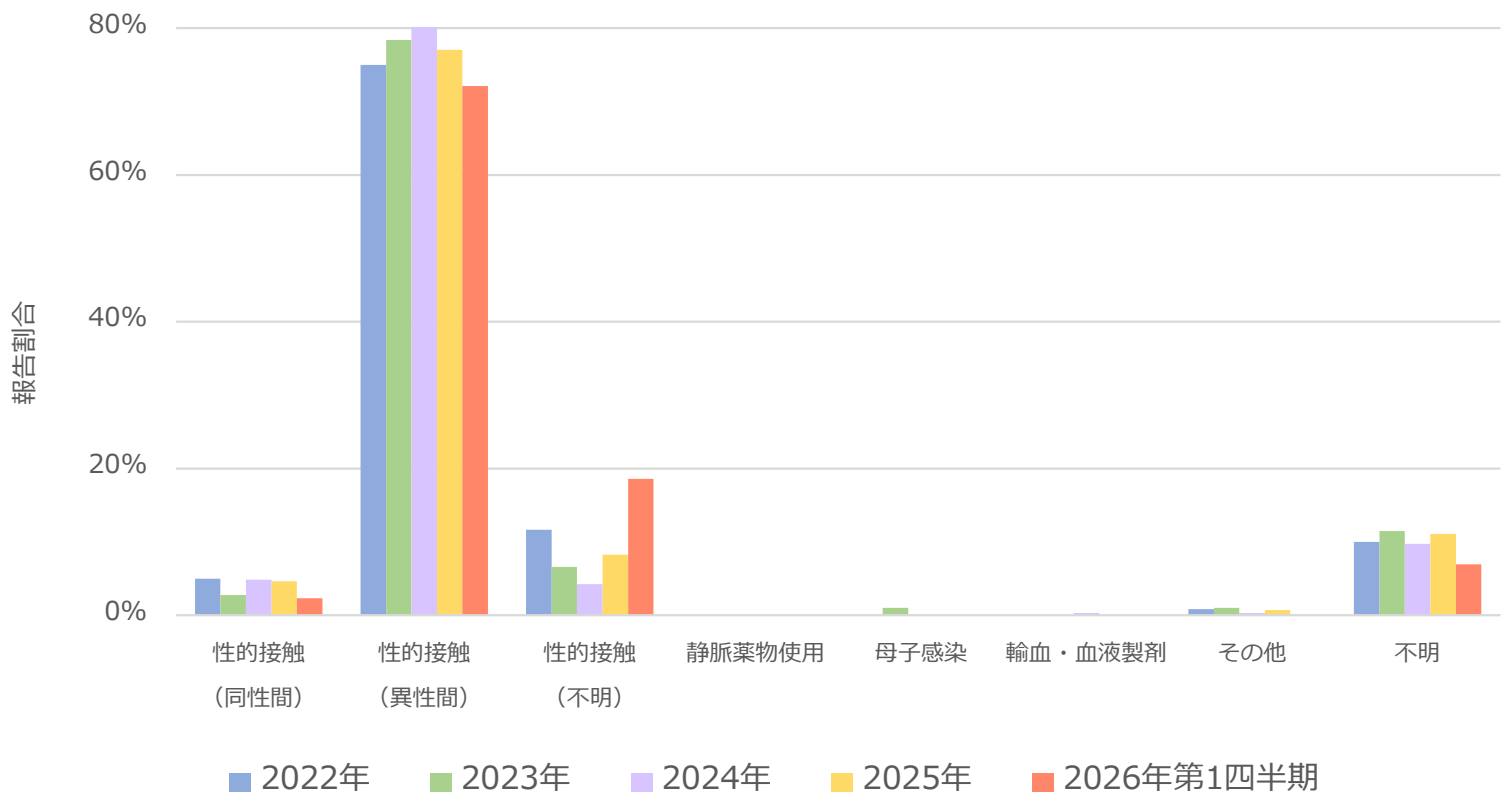
- 2026年第1四半期に報告のあった梅毒症例の推定感染経路は、男女ともに「異性間の性的接触」が最も多かった

茨城県内における推定感染経路別 梅毒報告数（2026年第1四半期:12/29~3/29）



- 推定感染経路別報告割合は、いずれの年も「異性間の性的接触」が最も高く、全体の70%以上を占めている

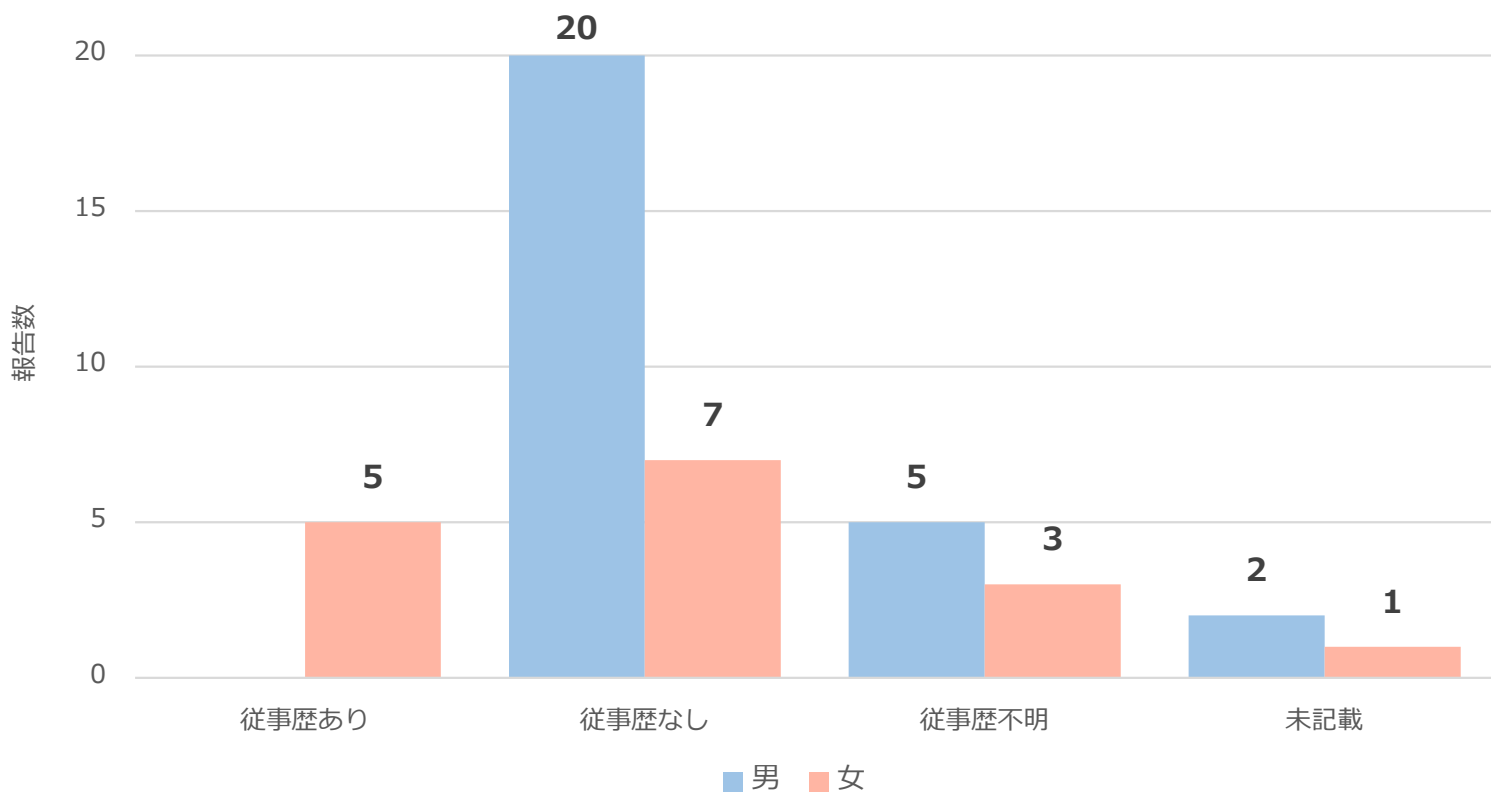
推定感染経路別 梅毒報告割合（2022年～2026年）



性風俗産業従事歴別 梅毒報告状況

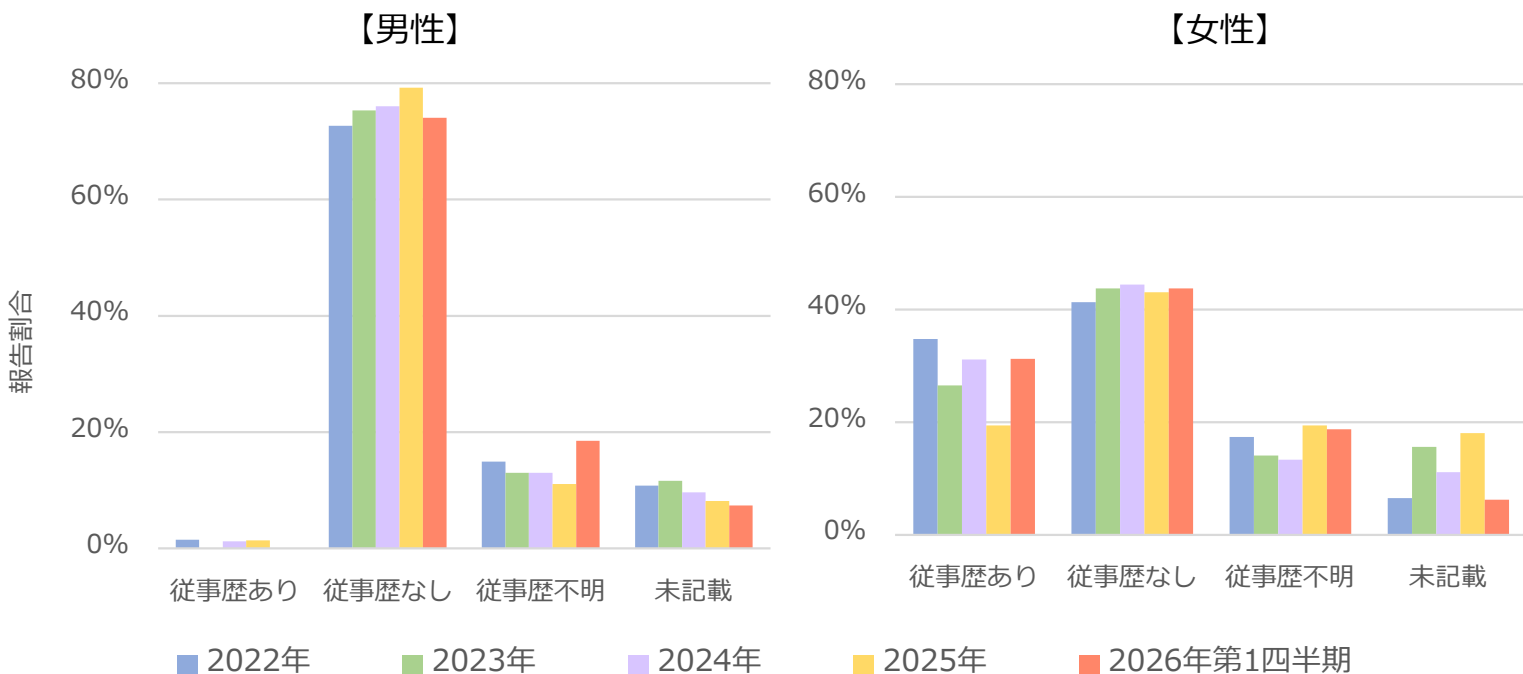
- 2026年第1四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業従事歴ありの女性は5例（31%）、男性は0例と女性に多かった

茨城県内における性風俗従事歴別 梅毒報告数（2026年第1四半期:12/29~3/29）



- 性風俗産業従事歴ありの割合は、いずれの年も女性のほうが高かった
- 2026年第1四半期に報告のあった症例の性風俗産業従事歴別報告割合は、おおむね例年どおりの傾向であった

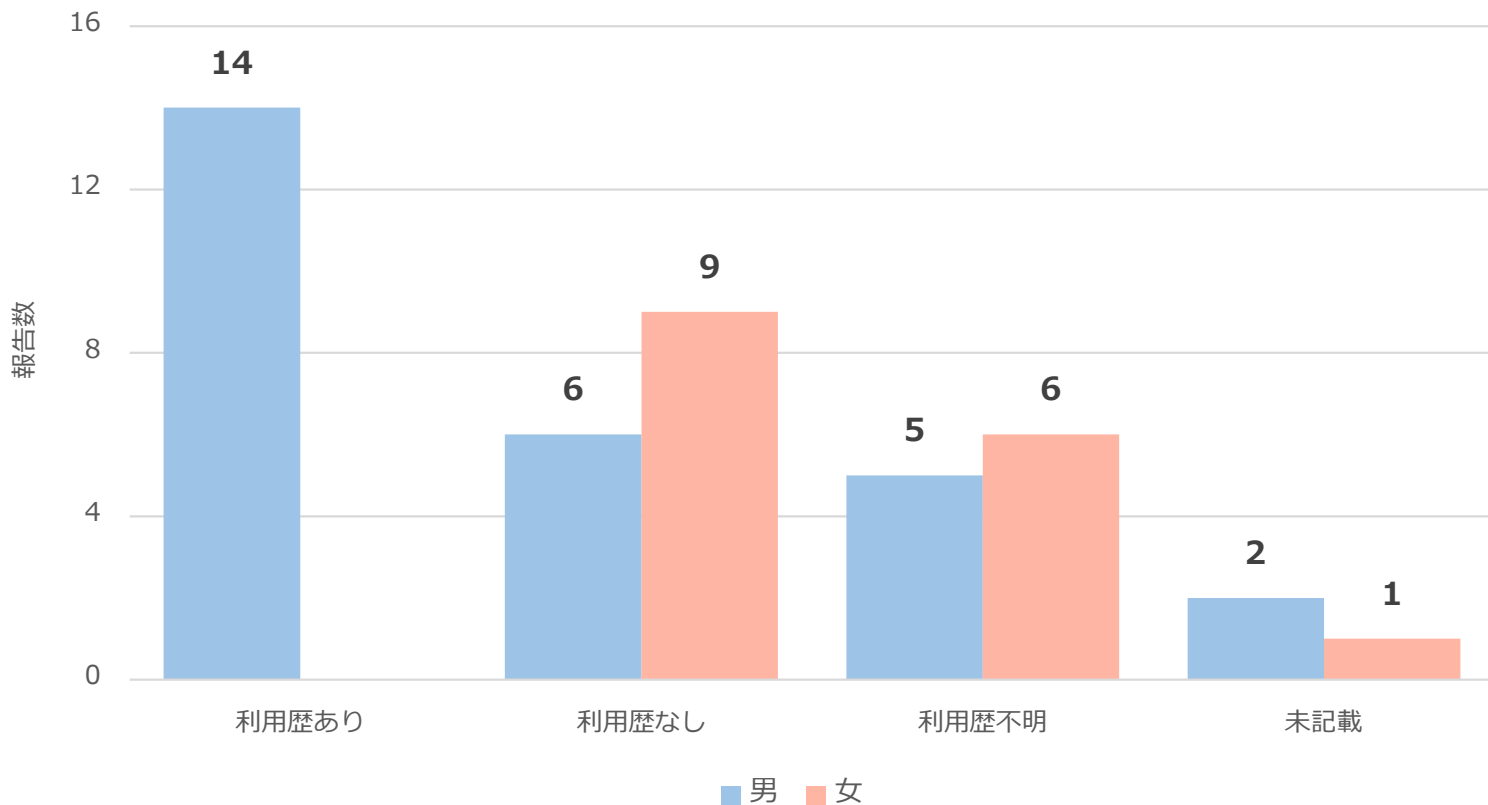
性風俗産業従事歴別 梅毒報告割合（2022年~2026年）



性風俗産業利用歴別 梅毒報告状況

- 2026年第1四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業利用歴ありの男性は14例（52%）、女性は0例と男性に多かった

茨城県内における性風俗利用歴別 梅毒報告数（2026年第1四半期:12/29~3/29）

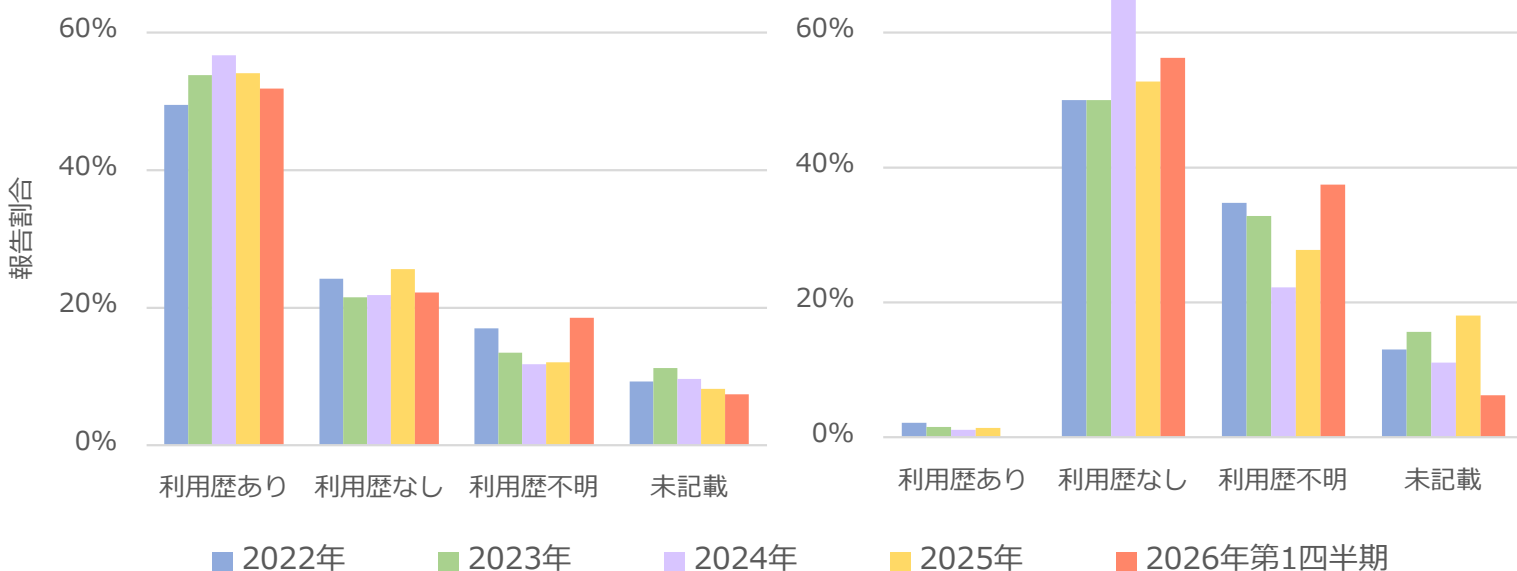


- 性風俗産業利用歴ありの割合は、いずれの年も男性のほうが高かった
- 2026年第1四半期に報告のあった症例の性風俗産業利用歴別報告割合はおおむね例年どおりの傾向であった

性風俗産業利用歴別 梅毒報告割合（2022年～2026年）

【男性】

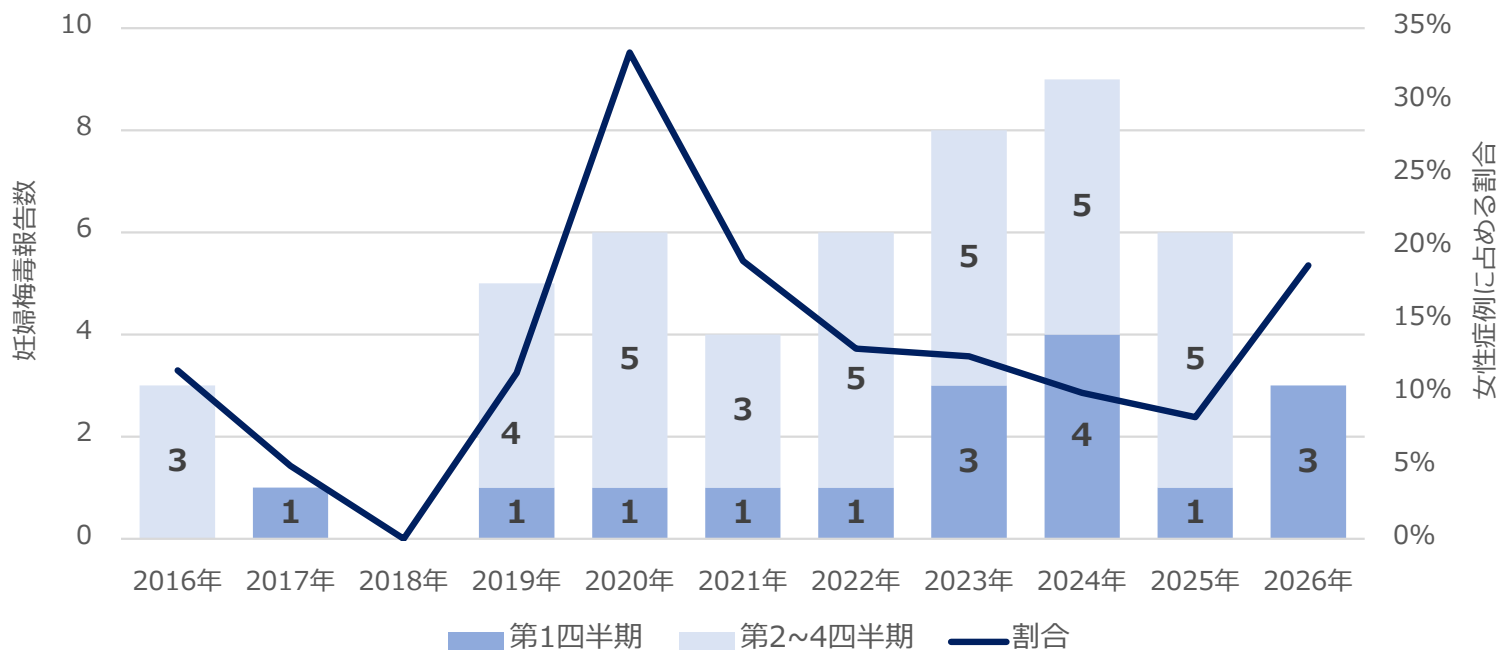
【女性】



妊婦梅毒

- 2026年第1四半期に報告のあった妊婦梅毒報告数は3例と、昨年同時期と比較すると2例増加した
- 2020年以降、女性症例に占める妊婦梅毒症例の割合は減少傾向にあったが、2026年第1四半期は19%に増加した

茨城県内における妊婦梅毒報告数（2016年～2026年）



- 2015年～2023年3月10日までは、感染症発生動向調査システムに登録された梅毒症例のうち「疾病共通備考欄」または「その他事項」の欄に「妊娠」の記載が含まれるものを抽出
- 2023年3月11日以降は、感染症発生動向調査システムに「妊娠の有無（女性のみ）」の欄が追加となったため、当該欄より抽出

先天梅毒

茨城県内における先天梅毒報告数（2016年～2026年）

